

令和 4 年 度

八代市議会建設環境委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 所管事務調査 1

令和 5 年 3 月 2 8 日 (火曜日)

建設環境委員会会議録

令和5年3月28日 火曜日

午前 9時00分開議

午前 11時18分開議（実時間11分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査
（管内調査（八代市の生活排水について））

○本日の会議に出席した者

委員長 上村哲三君
副委員長 谷川登君
委員 太田広則君
委員 木村博幸君
委員 谷口徹君
委員 山本幸廣君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

市民環境部長 谷脇信博君
市民環境部次長 嶋田和博君
環境施設課審議員
兼施設維持係長 南浩一君

○記録担当書記 谷口一輝君

（午前9時00分 開会）

○委員長（上村哲三君） おはようございます。
（「おはようございます」と呼ぶ者あり）それでは定刻となり、定足数に達しましたので、ただいまから建設環境委員会を開会いたします。

◎所管事務調査

- ・都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- ・生活環境に関する諸問題の調査
（管内調査（八代市の生活排水について））

○委員長（上村哲三君） 当委員会の所管事務調査2件を一括議題とし、調査を進めます。

当委員会の所管事務調査は、都市計画・建設工事に関する諸問題の調査、生活環境に関する諸問題の調査、以上の2件です。

このうち、本日は生活環境に関する諸問題の調査に関連し、八代市の生活排水について、管内調査を行うこととしております。

それでは、本日の行程につきましてはタブレット端末のレジュメのとおりでございますが、執行部から説明を求めます。

○市民環境部長（谷脇信博君） 皆さん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）早朝よりお集まりいただき、ありがとうございます。

本日の管内調査の行程につきまして、嶋田次長より説明させていただきます。よろしく願います。

○市民環境部次長（嶋田和博君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）市民環境部、嶋田でございます。

私のほうから、本日の行程について簡潔に説明させていただきます。

座らせていただきます。

この後、委員会休憩いただきまして、市役所のほうを出発してまいります。環境施設課の公用車で先導させていただき、まずは、郡築十二番町にございます衛生処理センターを御覧いただきます。滞在時間は約15分を見込んでおります。

その後、新港町の浄化槽汚泥処理施設、こちらのほうも滞在時間15分、そして、隣接します、建設部が所管しております水処理センタ

一、こちらのほうで30分ほど滞在し、その後、こちらの市役所のほうに11時20分頃をめどに帰着の予定でございます。

詳細な説明につきましては、それぞれ現場のほうで詳しく説明させていただきたいと思いません。

半日の行程となりますが、どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（上村哲三君） ただいまの説明について、何か御質問等ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上村哲三君） ないようでしたら、管内調査のため、しばらく休憩いたします。

（午前9時03分 休憩）

（午前11時10分 開議）

○委員長（上村哲三君） それでは、休憩前に引き続き、建設環境委員会を再開いたします。

ただいま調査してまいりました、八代市の生活排水について、御意見等はありませんか。

○委員（太田広則君） 先ほど、衛生処理センター、浄化槽汚泥処理施設、それから水処理センターと、三つ見せていただきました。特にですね、衛生処理センター、もう老朽化して、担当の職員の皆さんはですね、大変な現場の中で仕事をされているということがよく分かりました。

総括的に考えますと、共同処理施設をですね、将来的に考えてるといことがもうはっきりありますので、そうした中で、西尾係長のほうから、もう電気代——山本委員も現場で言われましたけども、本当に電気代がかかっていると。この太陽光を利用した考え方、あんだけの敷地面積がありますので、ぜひ太陽光発電を取り入れて、電気代のランニングコスト、それから、何かメタンガスもそのまま利用できてない状況にあるということでしたので、将来的にはランニングコストをですね、下げるような取組

を頑張っていたきたいと、このように思いました。ありがとうございました。

○委員長（上村哲三君） ほかにありませんか。

○委員（木村博幸君） どうもお疲れさまでした。

やっぱり一番気になったのは衛生処理センターでしたが、やっぱりかなり古いなところと、制御するお部屋をですね、最後にちょっと見せていただいたんですが、非常に古い計器ですね、頑張って操業されてるなというふうに思いました。

今で言うそうですね、警報とかセンサーとかがほとんどなくてですね、ただ液面計がちょっとあるぐらいの計器類、これでも頑張っているらしいということと、そのときお聞きしたのが、あとは操業的なところは、実情に合わせていろいろ、手動で操作していると。要は、腕に勘頼りというところもあるので、これがよう残ってきたなと思っております。

それで、春夏秋冬ですね、いろいろ季節も変わりながら操業される中で、一つお伺いしたかったのがですね、最終的に出るところ、処理水ですね、検査というのをどういうふうにやっておられるかなあというのをですね。頻度とか、例えばBOD——生物化学的酸素要求量で見るとか、そういうのが分かればちょっとお聞きしたいなと思います。

○環境施設課審議員兼施設維持係長（南 浩一君） こんにちは。環境施設課、南でございます。

委員お尋ねの件でございますが、まず、管理する項目としましては、県のほうでですね、条例で定められてますpH——水素イオン濃度、BOD、SS——浮遊物質・懸濁物質をメインにですね、毎月1回、放流水のほうは調査をさせていただきます。

その中で、結果につきましては、ほぼ基準値

はクリアしてるということで、あと、中のほうはですね、それぞれ各施設の分析項目がございまして、それを見ながらですね、運転の方法をですね、考えながら、曝気の量を変えたり、希釈する水の量を考えたりしながら運転をさせていただきます。

以上、お答えいたします。

○委員長（上村哲三君） 山本委員、どうぞ。

○委員（山本幸廣君） いいですよ。どうぞ。
（委員木村博幸君「ありがとうございます。やっぱり計器類が……」と呼ぶ）

○委員長（上村哲三君） 木村委員、発言するときは手を挙げてください。

○委員（木村博幸君） 本当、腕、勘頼りというところをですね、よう立派にやってこられたなと思いますので、最後まできちんと基準値を下回るように操業していただければなと思います。

以上です。

○委員（山本幸廣君） 今日、委員長のほうから言うて管内調査をしていただいた中でですね、3施設を見る中での感想というか、お願いもしたいと思うんですけども、まずは今日、南君のほうから説明を受けたときですね、もう本当、私は平成17年頃からこれを改築しないかんということで叫んできた、八代旧市のときからですね、やってきたんですけども。ようやく共同処理がですね、できるというような中で、当初予算も含めて予算化を進める中でですね、まずはですね、これ委託業者の方々がおられると思うんですよ。そこで、いかにコストを下げるかということも考えていかないかん。そのためにはやっぱり委託業者の、これはもう育成と言うといかんんですけども、委託業者をどう育てていくのか。委託業者に対してもですね、お互いに共通点を認識をしっかりと持っていただきたい。

技術的にはどっちが上かと。市役所のほうの

技術の方々が上なのか、委託業者の方々の技術が上なのかと言われたときにですね、私が一番心配しているのはそこなんです。そういうことで、維持費がどうかかるのか、維持管理がどれだけかかるのかということに流れていくものですから。

そういうことで、今日の視察の中で一番感じたのが、職員の方々の、上司の方々の、ここあたりの3施設の共同処理センターの認識をどんどん高めて、そしてまた、部下の方々が上司に伝える中で、上司と一心同体になってから、いろんな問題を解決してほしいというのが感想です。

○委員長（上村哲三君） ほかにありませんか。

○委員（谷口 徹君） 一番ですね、気になったのは、ビニール類がかなり混入しているのをですね、目の当たりにして。ごみ問題も同じなんですけども、環境行政のほうは非常に啓発活動に力を入れていかなければいけないのかなというふうに感じました。

以上です。

○委員長（上村哲三君） ほかにありませんか。

○委員（木村博幸君） 水処理センターのところで浄化槽汚泥処理施設のところで、施設を見たところで、一番気にしたのが、前回の一般質問でも出しましたが、下水汚泥の肥料化というところで、やっとうスタートで、試験が始まるというところですね、スムーズに行きながら、やっぱり、現場でも言いましたけど、地産地消になるように早く受皿をですね、見つけながら、試験をされてるところで、協議会を交えてですね、進めていただけてるところで安心はしておりますが、なるだけ商品化についてはPRをですね、やっぱり今からきちんと考えながら、使ってもらって安心ですよ、安全ですよというのと、やっぱり一つはSDG

s、この前も言いましたけど、そういう持続可能なですね、社会になるような、肥料もそうなんですが、そうやってきて、リンをどうにか回収して、皆さんで長く使えますよというところでPRをしていただければなということで、また併せてでのお願いですけど、よろしく願いしておきたいと思います。

以上です。

○委員長（上村哲三君） ほかにありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上村哲三君） それでは以上で、八代市の生活排水についての管内調査を終了いたします。

ほかに当委員会の所管事務調査について何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上村哲三君） それでは以上で本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって建設環境委員会を散会いたします。

（午前11時18分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和5年3月28日

建設環境委員会

委員長